

【教育目標 げんきいっぱい えがおいっぱい いきいき表現する子ども】



きらきら

新潟市立沼垂幼稚園
園だより
令和4年6月29日発行

乗り越える力

園長 青木博子

不思議・驚き

年長組は、5月から野菜栽培を始めました。4人グループで育てたい野菜を1つ決め、苗を植えました。水やりをしながら、茎や葉の様子に関心を向け、感じたことや気付いたことを友達や先生に伝え合います。「きゅうりの葉っぱは、とげとげして痛いよ」「きゅうりの葉っぱは、きゅうりの匂いがする」。そこで、トマトの葉っぱの匂いをかぐと「トマトの匂いがする!」。さらに、ピーマンの葉もピーマンの匂いがするのを発見し、その驚きが子どもの中に広がっていきます。そして、きゅうりの小さな実ができ始めると「赤ちゃんきゅうり、かわいいね」と喜んだり、「これがきゅうりになるの?」と感じたりして、友達にその不思議さを一生懸命に伝えています。



みんなのことを考える

初めて1本のきゅうりが食べごろになりました。お休みの友達が2人いる中で、収穫するかを相談し始めました。「今日は私が持って帰りたい。順番に収穫して持って帰ればいいと思う」と、ある子どもが言いました。すると、「みんなで育ててきたから、みんながそろったら収穫しよう」「みんなで収穫して、16等分してクラスみんなで食べよう」と言う子どもが現れました。それを聞いたみんなが、その考えに賛成し、収穫は全員そろった日にすると決まりました。みんなで、みんなのことを考えた瞬間です。ここに、道徳性の芽生えが表れています。

大変! きゅうりをカラスから守る

ところが、次の朝、その大切なきゅうりがカラスに食べられていました。子どもたちはとてもがっかりしました。「だから昨日収穫すればよかったのに」という子どももいました。それを聞いた担任が「昨日、みんなで収穫しようって、みんなで決めたのよね」と優しく話すと、子どもたちははっとします。そして、前向きに、どうすればよいかを考え始めました。



カラスから守るために、DVD、銀の紙、かかし、罨を作るなどの考えが出されました。「銀紙ならあるから、『きらきら』ならすぐに作れる」ということになり、子どもはすぐに制作を始めました。光を反射するきらきらを作ってつるします。9時にきゅうりを発見してから、自分たちの野菜を守るきらきらが畑に下げられたのは、11時半近くでした。

ところが、次の日も、きゅうりがカラスに食べられてしまったのです。子どもたちはさらに考えました。家から持ってきたDVDに怖い顔を描いたり、Tシャツや帽子などでかかしを作ったりしました。子どもたちは、きゅうりを守るために、自分たちで考え、人に聞き、何とかしようと思いました。



満足感と一体感と

ついに、カラスから守り切ったきゅうりが収穫されました。収穫したきゅうりをじっと見つめて、子どもが言いました。

「やっととれた」

その短い言葉に、やり遂げた満足感が表れていました。子どもは、年少組、年中組の部屋へ向かいました。年少・年中組の子どもにきゅうりを見せる子どもの表情は、喜びにあふれていました。収穫したきゅうりは給食のサラダに入れてもらい、全職員、園児でいただきました。みんなからお礼を言われた年長組の子どもは、満面の笑顔でした。

守る作戦は続く

ところが、しばらく経ったある日、再びきゅうりがカラスに食べられてしまったのです。子どもは考え、話し合います。さらにきらきをを増やしました。そして、「カラスは、カラスの死骸には近寄らない」という情報を得て、黒いビニール袋で、本物そっくりの、かわいらしいカラスを2羽作ったのです。すぐに、支柱につり下げました。さらに増えたきらきりと子どもたちのカラスが、野菜を守ることになりました。



作戦を支えるもの

担任は、野菜の収穫のために必要なことや、困難が生じそうな状況を想定しつつ、決して、先回りして「こうしたらいいよ」と言わずに、子どもを見守ります。そして、子ども同士で試行錯誤しながらも、一緒に実現に向かおうとする様子を丁寧にとらえ、一人一人の感じたことや思い、考えを深く理解し、全体に広めたり、よさを伝えたりしていきます。

野菜とともに育まれたもの

子どもは、カラスから野菜を守るために、みんなで話し合い、自分たちができることを考え、一つ一つ行動して、全力で乗り越えてきました。友達と一緒に解決して、一体感、満足感を味わいました。野菜を無事に収穫するという共通の目的の実現に向けて、試行錯誤し、力を合わせてやり遂げた姿には、「協同性」が表れています。

今朝も私は、太陽の日射しを受けて輝くきらきりと、子どもたちが作ったかかしやカラスと、年長組の子どもたちの思いに守られながら、野菜たちがすくすくと育っていることを確かめました。これから年長組の子どもたちが登園してくるはずです。この、元気に育っている野菜を見た時のあの子たちの表情が目に浮かんできて、笑顔になりました。